

NEWS TYPE

CORE PACK TUBE

軟質土用コアパッキングチューブ NEWS型

- 軟弱地盤の地質調査に威力を発揮。
- インナーチューブが透明管でコアが一目瞭然。
掘削後に地上で内管を出すだけでそのままコアを確認する事が出来ます。
- 軟弱な地層の場合、コアを管内に入れたまま保留する事が出来ます。

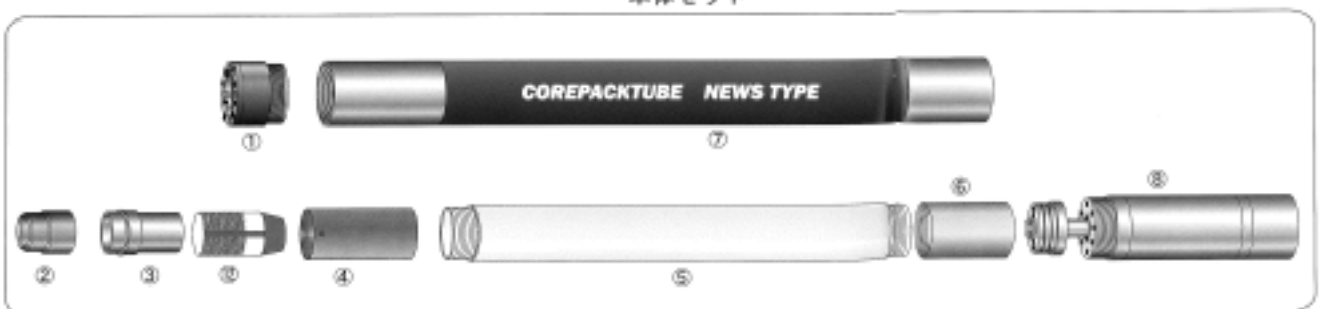
	RS対応	RS対応	RS対応
	66NEWS	86NEWS	116NEWS
サイズ	1.0 M	1.0 M	1.0 M
外径	66 m/m	86 m/m	116 m/m
コア径	45 m/m	65 m/m	92 m/m
コア採取長	1.0 M	1.0 M	1.0 M
全長	1.57 M	1.6 M	1.62 M
重量	13 kg	21 kg	35 kg
スリーブ到達長	133 m/m	150 m/m	150 m/m
内・外管クリアランス	2.0 m/m	2.0 m/m	4.5 m/m
掘削水	泥水・清水		

	部品名
1	メタルクラウン(S)
2	シュー(15L)
3	スリーブケース
4	スリーブカラー
5	アクリルパイプ
6	ヘッドカラー
7	アウターチューブ
8	スイベルヘッド
9	シュー(10L)

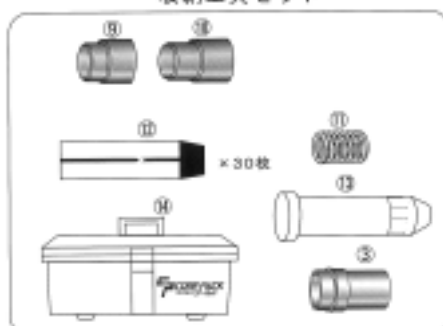
	部品名
10	シュー(20L)
	φ 66は(25L)パネ付
11	スプリング(器)
12	バックスリーブ
13	セッティングスタンド
14	工具箱
15	メタルクラウン(SM)
16	リフターケース(SM)
17	コアリフター(SM)
18	スプリングカラー(SM)

注：RSをご使用の場合はヘッドカラーは-15m/mが必要になります。

本体セット



収納工具セット



SM(硬岩)切り替え部品



SLIM TYPE

CORE PACK TUBE

軟質土用コアパックチューブ スリム型

- S型の進化形コア径がS型よりも3m/m大きくなり、コアの見栄えに歴然と差が出ます。
- コアパックチューブの中で最も多くの方々にご使用頂いている規格です。
- オプション部品が多彩な為1SETで軟岩～硬岩まで幅広くご使用頂けます。
- メタルクラウンの掘削断面面積が小さくなり掘削抵抗が減少する為、採取時間が短縮されます。

◆仕様

仕様	RS対応		RS対応	
	66S L I M		86S L I M	
サイズ	1.0 M	1.5 M	1.0 M	1.5 M
外径	66 m/m		86 m/m	
コア径	48 m/m		68 m/m	
コア採取長	1.0 M	1.5 M	1.0 M	1.5 M
全長	1.6 M	2.1 M	1.54 M	2.04 M
重量	16 kg	20 kg	25 kg	31 kg
スリーブ到達長	133 m/m		168 m/m	
内・外管クリアランス	1.5 M			
掘削水	泥水・清水			

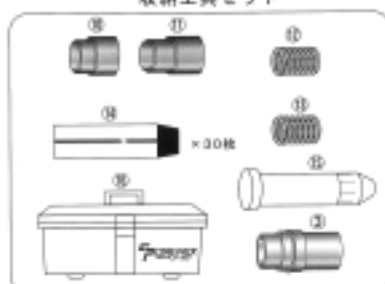
	部品名
1	メタルクラウン(S)
2	シュー(15L)
3	スリーブケース
4	スリーブカラー
5	インナーチューブ
6	アクリルパイプ
7	ヘッドカラー
8	アウターチューブ
9	スイベルヘッド
10	シュー(10L)
11	シュー(20L)

	部品名
12	スプリング(強)
13	スプリング(弱)
14	バックスリーブ
15	セッティングスタンド
16	工具箱
17	メタルクラウン(SM)
18	リフターケース(SM)
19	コアリフター(SM)
20	スプリングカラー(SM)
21	ガイドパイプ(86のみ)

本体セット



収納工具セット



SM(硬岩)切り替え部品



TRIPLE TYPE

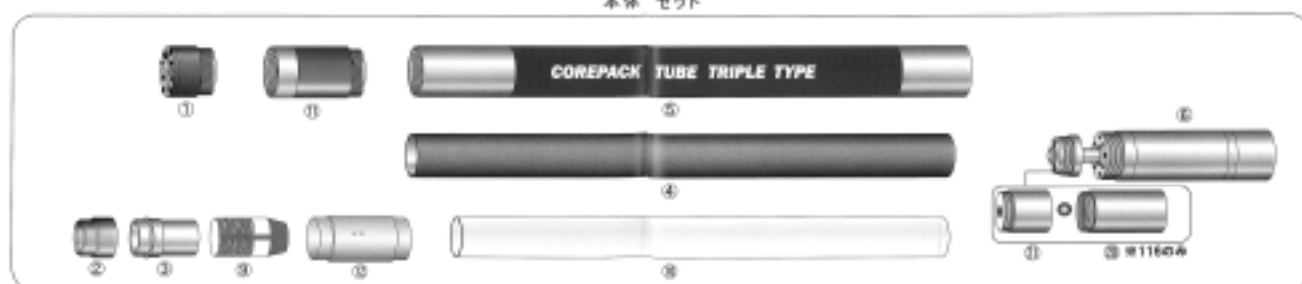
CORE PACK TUBE

三重管コアパックチューブ トリプル型

- 三重管構造(アクリルパイプ使用)
- トリプルコアパックチューブは、ハイクオリティなコア採取を実現。
- スピード・採取率・コアの品質向上。
- コアの取り出しが容易・コアに対する外圧を防ぐ。
- 軟弱な地層の場合コアを管内に入れたまま保留可能！
- 116はヘッドと外管がS型と共通！

	R S 対応	R S 対応		
	86TRIPLE	116TRIPLE	部品名	部品名
サイズ	1.0 M	1.0 M	1	12
外径	86 m/m	116 m/m	2	13
コア径	65 m/m	88 m/m	3	14
コア採取長	1.0 M	1.0 M	4	15
全長	1.59 M	1.76 M	5	16
重量	25 kg	50 kg	6	17
スリーブ到達長	130 m/m	135 m/m	7	18
内・外管バランス	1.5 m/m	2.5 m/m	8	19
掘削水	泥水・清水		9	20
			10	21
			11	

本体 セット



S M(硬岩)切り替え部品

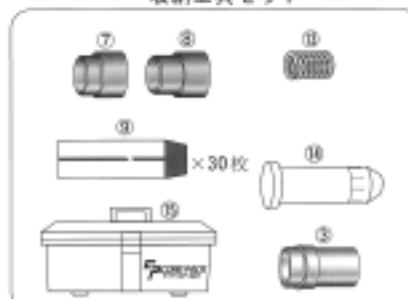


スリット付(オフセット)



硬岩時のコアを取り出す際、ドライバーなどでスリット部分を引っ掛けることで、コアを引っ張り出すことができます。

収納工具セット



切り替え専用パーツ

RS

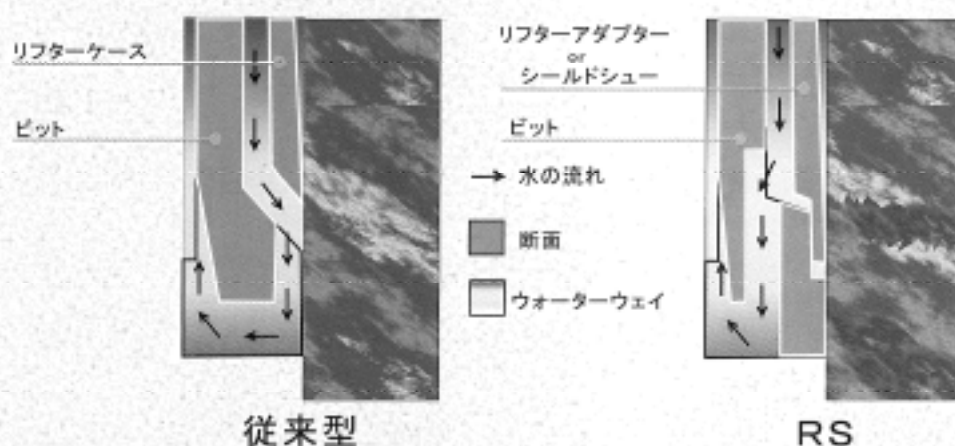
互層・破砕帯用

軟硬両用マルチコアパックチューブ

「軟硬両用」という新しい選択肢

従来型のコアパックチューブでは、マサ・粘土などの軟質土を採取する場合に、シューを先行させながら掘進して行く「軟岩用」と、岩盤などの棒状になるコアを、ダイヤモンドビットを使用し、挿入したコアをリフターを用いて切る「硬岩用」の2種類に分類されていました。しかし現在の調査ボーリングにおいては、地層状態も悪く、非常にシビアなコア採取を要求されるケースが多くなり、上記2種類だけではコア採取が難しい状況があります。一般的に、自然な状態でのコア採取が難しいとされる地層の多くは土砂と岩が混在しているケースが多く、このような複雑な地層においても、従来では「軟岩用」か「硬岩用」という選択肢しかありませんでしたが、RSでは、その2つの相違点である先端部の特性を集約し、「水の流れ」を制御する事で、全く新しい「軟硬両用」という選択肢が追加されました。

RS 先端構造



外管と内管は非接触

スイベル式ダブルコアチューブの基本概念である「内管は静止状態」を保つためには、アウター側とインナー側はフリーな状態（非接触）でなければなりません。RSは、新シールド構造（PAT.P）によりアウター側とインナー側を接触させずに、コア浸入部へ掘削水が流れ込みコアを崩すのを防いでいます。

RS 変更必要部品

スプリングカラー + シールドシュー + メタルクラウン
or
RS (硬岩) 専用ヘッド + リフターアダプター (コアリフター) + NEWビット

適応規格はお問い合わせ下さい。